

角筈地区協議会

平成26年度第11回（第120回）地域交流分科会 概要

平成27年2月4日（水）10:00～12:00

角筈特別出張所2階会議室

出席：委員13名 社会福祉協議会(オブザーバー)：1名 事務局3名

1 リーダーより

会議に先立ってリーダーよりお話(新年会の案内)がありました。

2 委員の皆さんから連絡

◆ 須磨委員より

3月8日(日)新宿中央公園にて防災フェア(主催：西新宿角三町会 共催：東京新都心ライオンズクラブ)が開催されます。地区協議会でも参加できるとのことです。地域交流分科会としても、地域との交流などを目的にして何か出店してはいかがでしょうか。

⇒後ほど協議しました。

◆ 板本委員より

新宿区女性海外研修者の会が他団体との共同主催で、「国際交流区民のつどい ひなまつり」を下記の通り開催します。お時間のある方はご参加ください。

日時：2月28日(土)9:30～14:30

場所：新宿文化センター

◆ 田中委員より

年齢的に、気持ちはあっても体がついていかないことが多々あるので、来年度は委員を辞退したい。

⇒無理なく参加できる時で構わないので、委員は辞めずにいてほしい。という委員からの要望を受け、田中委員からは、暖かくなったら参加するという事で辞退は取り消されました。

3 役員会の報告

日時：1月28日（水）15時～16時

場所：角筈地域センター7階会議室A

井上リーダーより役員会の報告がありました。地域交流分科会の事業報告としては、情報紙の今後の編集方針や進め方を検討していることと、11月～1月の事業報告、また、2月～3月の事業の予定をお話しました。

また、事務局より下記の通り補足がありました。

- ① 啓発物品の名入ボールペンが残り少なくなったので(残27本)、年度内に同型のものを500本追加発注することになりました。
- ② 次年度は委員改選です。輪番制により4月全体会からの第六期会長は、西新宿商興会会長の雨宮委員となります。輪番制の副会長は新宿西口商店街会長の宮越委員です。(事務局補記：輪番制ではない副会長2名は2月20日現在未定です。)
- ③ 団体推薦枠で委員になられている方で、2年間を通して活動に参加されなかった4団体について推薦人数を2名から1名に変更しました。

- ④ タブロイド版V o 1. 6が3月15日に発行されます。現在編集中です。地域交流分科会は、秋を探そう中央公園と魚のおろし方教室の写真を掲載しました。
- ⑤ 次回役員会は3月27日(金)です。議題は、新役員の調整と次年度の予算調整などです。

4 各分科会の報告

(1) 生活環境分科会

① 施設見学会

事務局より報告がありました。

日時：2月3日(火) 14時～16時

場所：神田川・環状7号線地下調整池

参加者：37名

参加者に好評でした。現地集合でしたが、生活環境分科会委員と事務局が地区協ベストを着用して道案内をしたため、ほとんどの参加者が迷うことなく集合出来ました。次年度も同じ場所への見学会という案がすでに出ています。

② 第15回「つのはず友遊カフェ」

事務局よりお知らせがありました。

日時：2月18日(水) 13時30分～

場所：西新宿シニア活動館

イベント：テーブルマジック 17歳現役高校生マジシャンによる演技

1月のカフェに1歳未満の赤ちゃん連れのお母さんが7組参加されました。多世代交流を進める上で良い流れとなっています。小さな子どもも安全に参加できる環境作りが今後の課題です。

5 議題

(1) 防災フェアについて

会議の冒頭須磨委員から提案のあった防災フェアへの参加について協議しました。

日時：3月8日(日) 10:00～14:00(?)

場所：新宿中央公園

内容：東日本大震災復興支援 出店販売の売り上げはチャリティとして寄付

主催：西新宿角三町会

共催：西新宿ライオンズクラブ

協力：東京都水道局、新宿消防署、新宿区危機管理課、角筈地区青少年育成委員会、角筈地区民生児童委員、西新宿子ども園保護者会、西新宿児童館

協議の結果、今年は地区協分科会としての参加はせず、個人的に観に行きチャリティに協力するなどというやり方で様子を見ることにしました。

(2) 新宿中央公園春まつりについて

日時：3月21日(土) 11:00～15:00

場所：ジャブジャブ池、ちびっこ広場

出店内容等について話し合いました。下記の通りに決まりました。

① 内容

焼き芋・ポップコーン・公園散策

② 係

焼き芋・・・・・・・・洞口、伊藤、田中 角筈地域センターから1名(小川氏)
ポップコーン・・・・井上、上田、板本
公園散策・・・・・・・・森、須磨
全体管理・・・・・・・・武田

③ 昼食

一人おにぎり2個程度 分科会割り当て15,000円から支出
購入担当：武田

④ その他

- ◆ 中央公園管理事務所との打ち合わせに参加する(日にち未定)。
担当：井上、武田、事務局
- ◆ さつまいもとポップコーン材料の購入数は事務局でこれまでの実績を調べ、来月の分科会にて報告し決定する。

(3) リーダー決め

第六期(27年4月全体会～)の分科会リーダーをどうするか検討しました。立候補はなく、推薦として武田委員の名前が挙がりました。また、サブリーダー候補には森委員、須磨委員、洞口委員が挙がりました。拍手により下記の通り決まりました。

地域交流分科会リーダー：武田委員

地域交流分科会サブリーダー：須磨委員

武田委員はリーダーに就任することにより役員会の理事に就任します。武田委員は現副会長ですが、副会長と理事は兼任できないことから、第六期は副会長には就任できません。また、この新体制は27年4月の全体会からスタートします。

(4) 27年度の事業計画及び予算

次年度の事業計画と予算について協議しました。

資料「平成26年度地区協議会まちづくり活動計画書(総括表)」と「平成26年度地区協議会まちづくり活動計画書(審査会用)」を見ながら、まずは今年度の振り返りをしました。

① 情報紙「わいわい地域交流！」の発行

→年4回の計画でしたが、年2回の発行となりました。

② 秋を探そう中央公園！

→11月28日に開催しました。

③ 地域交流勉強会・講習会

→11月8日「魚のおろし方教室」を開催しました。

④ 施設見学会

→2月3日「善福寺川取水施設」見学会を生活環境分科会と共催しました。

⑤ 中央公園春まつりに参加

→27年3月21日開催に参加予定。

⑥ 打ち水大作戦に参加

→8月6日 新宿CSRネットワーク主催の打ち水大作戦に参加しました。

情報紙について委員から意見がありました。「今後も続けて発行したいが、今年度は編集作業がままならず大変だった。これを踏まえて、来年度は発行回数を検討したり、編集部を別に設け、定例会のほかに会議を開催して編集する(おおまかな内容は定例会で決め、細かい作業を編集会議で行う)といったやり方はどうだろうか。」「今、発行回数や編集方法などの細かいことを決めるよりも、月一回の定例会に集まりつつ、取り上げたいテーマが出てきたり編集意欲が高まった時に具体的な方法を話し合うという形なら、現状無理がなくてよいのでは。イベント情報は、地域センターのタウンニュースに差し入れてもらうのはどうか。」

「機を待つというのはあいまいではないか。やりたい意欲のある人だけででも進めていくしかない。」「地域交流分科会で発行するのだから、分科会委員みんなで意見を出して編集するべき。なし崩し的に編集部をつくるのはやめたほうがいい。」

今後も情報紙を発行するかしないか多数決をとったところ、14名中12名の挙手がありました。発行回数や予算については来月の分科会で決めます。

また、委員から、始めは予算を少なく請求し、後から計画し直して追加請求することは可能か、という質問がありました。事務局から、可能だが使わなかった補助金は返還できる、しかし返還ありきで計画を立てるのではなく、実施可能な計画を立て、それを執行するために努力することは必要だという説明がありました。これについては当地区協会長も、計画した事業はできるだけ実施してほしい、予算の執行率を上げるように、という努力目標を掲げています。

また、事務局から参考までに次のような話がありました。地区協議会によっては180万円の限度額では足りないくらいの活動をしていたり、できるだけ区の補助金を使わずに活動しようと、毎年100万円以内に抑えていたり、返還額が予算の50～60%に及ぶ年が続く地区協があったりと、地域によって様々です。年度途中で予算の計画変更をして補助金を新たに請求する場合は、できれば年度の真ん中(9月、10月)くらいまでが望ましいです。

情報紙の来年度予算については、あらかじめ発行回数を4回として請求するのか、回数を減らして2回または3回分の請求にするのか、3月と4月の分科会でじっくり話し合って決めてください。

来年度の事業計画と予算については3月の分科会で話し合います。委員は、やってみたい事業について考えてくることになりました。事業を予算化するには、例えば勉強会を計画する際は、その内容や話を聞きたい講師について具体的に示す、といったことが必要となります。

5 次回会議日程

日時： 3月4日(水) 10時～12時
会場： 角筈特別出張所2階会議室